

科 目 名	地域理学療法学【理学】					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	宮 原 洋 八						
開 講 年 次	3	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	必 修（理学）
授業の概要 及びねらい	高齢者・障害者が自立した生活を送るには、地域社会や実生活の中で実践されるべきものであることが地域理学療法に求められている。本講では、生活機能改善の可能性やリハビリテーションの技術、関連サービスを紹介しながら地域理学療法学について学習する。						
授 業 の 到 達 目 標	1) 地域、地域理学療法学、それらの関係を理解する。 2) 地域理学療法学の理念、目的、医療・介護的活動を理解する。 3) 地域リハビリテーションニーズ、チームワーク、地域理学療法の内容について理解する。 4) リハビリテーション関連機器、関連制度について理解する。 5) 授業で獲得した知識を地域に出て活かす。						
学 習 方 法	講義（討議を含む）						
テキスト及 び参考書等	参考書：理学療法学 ゴールド・マスター・テキスト7 「地域理学療法学」 メジカルビュー社 2009						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	◎				90	
小テスト等							
宿題・授業外レポート							
授業態度			○			10	
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	地域理学療法学とは						
第 2 週	地域理学療法学の目標						
第 3 週	地域理学療法と地域リハビリテーション						
第 4 週	地域理学療法の対象、終末期リハビリテーション						
第 5 週	地域理学療法提供システム						
第 6 週	地域リハビリテーションニーズ						
第 7 週	チームワークと連携づくり						
第 8 週	地域理学療法の内容						
第 9 週	効果判定の方法						
第 10 週	リハビリテーション関連機器						
第 11 週	スポーツ・レクリエーション機器						
第 12 週	関連制度						
第 13 週	地域理学療法の実践事例（介護普及センターの施設見学）：佐賀市						
第 14 週	ケーススタディ						
第 15 週	まとめ						
第 16 週							
備 考	授業内容は変更することもある。 授業外学習（事前学習、事後学習）の指示。						